

松田町民文化センター複合拠点施設化に向けて

～活用方策の検討～

1. 複合拠点化の目的（どのような施設を目指しているか）

- 公共交通利便性を活かした、県西北部地域をリードする集客拠点施設
- 県西北部地域の拠点として、余所に無い機能を有した施設
- 文化的な催しや機能も充実し、町民が集う（憩う）施設
- 町民や子どもたちへ、文化やスポーツに触れる機会を増やす施設
- 地域や周辺自治体への波及効果を生む施設

2. 複合拠点整備後の活用方策

分野	拠点整備後の活用方策
文化	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館 <ul style="list-style-type: none"> ① 本に触れる機会の創出 ② 作家を招聘したイベント ■調理室 <ul style="list-style-type: none"> ① 料理教室 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの調理教室を継続的に実施。開催回数や内容を拡充する。 ② 健康教室 <ul style="list-style-type: none"> ・身体に良い食事、身体に悪い食事など、健康増進に関する教室を開催。 ③ 未病メニュー（レシピ）開発、コンテストなど <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品などを活用した、未病メニューの開発や、レシピコンテストなどを季節ごとに開催する。 ■大ホール <ul style="list-style-type: none"> ① 音楽活動（合唱、吹奏楽、、、、） <ul style="list-style-type: none"> ・学校などの音楽活動の場として積極的に活用する。 ② 音楽コンサート（歌手） <ul style="list-style-type: none"> ・1,000人規模のホールでも開催できるコンサートの誘致（本物に触れる機会を創出する）。 ③ 地域の伝統文化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化・芸能などの鑑賞会。 ④ 世界の伝統文化 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統芸能鑑賞会。海外の文化鑑賞会。 ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ① 文化財の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・松田町の歴史に関する資料を観賞しやすいよう展示する。

スポーツ	<p>■大ホール</p> <p>① 町民文化センター、リニューアルオープンイベント。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(H29) 未病・国際交流拠点として、スポーツの要素を拡充、スポーツクライミングウォールの設置（ホール、外壁）。 ・クライミング選手などを招聘したトークセッション、体験イベントを開催。 ・小田急沿線のクライミングジムを招聘。宣伝ブースを設置？ <p>② スポーツクライミング大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした、クライミング大会を開催。メジャー選手をアドバイザーに招聘。初日：講演、トークセッション、体験。二日目：クライミング大会。 <p>③ スポーツフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センター大ホール、松田町民体育館、みやまグラウンド、河川敷などを活用し、オリンピック競技などの体験イベントを開催（湘南ベルマーレ、山岳協会などと連携？） <p>④ スポーツフィルムフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックなどスポーツをテーマとした映画を定期的に上映。 <p>⑤ パブリックビューイング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック競技、世界選手権、ワールドカップなどの国際大会について、文化センター大ホールにてパブリックビューイングを実施。 ・スポーツへの関心を高め、競技者のすそ野を広げる。 ・文化センターのカフェ、オープンスペースなどに置いても、モニターを設置し、ホール以外でも、文化センター一体で鑑賞+応援する。
	<p>■トレーニングルーム</p> <p>① 一般の利用（安全管理必要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民のトレーニング機器の使用。時間制限。 <p>② クラブの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民などのグループ利用。 <p>③ トレーニング指導イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インストラクターを招聘し、トレーニング方法などを指導する。大ホールでのイベント時に連携して開催する。
国際交流	<p>■食を活かした交流</p> <p>① 世界の伝統料理を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールでの講演。広場での料理販売。調理室での料理教室など。 <p>■文化的な交流</p> <p>① 世界の伝統文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統芸能鑑賞会。海外の文化鑑賞会。 ・日本の伝統芸能または海外文化の体験プログラム。
その他	<p>① 食のイベントを併設（同時開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターで実施するイベント開催時には、オープンスペースなど活用して、フードフェスティバルを開催し、地域の食（料理、食材、農作物、加工品など）を物産として販売。 ・商工会、観光協会と連携し、駅前～商店街などでもマチバルを展開

3. 協議会委員の皆さまからのご提案

拠点整備後の活用方策	
スポーツ	<p>■「普及に関して町全体として取り組むべき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの観点で、「観るスポーツ」として考えると、ボルダリングの設備はステージ上に作るものなので、見やすさや、元々ある音響・照明等の設備を利用した演出のしやすさなどを考えると、エンターテイメントとしての可能性を感じます。また、オリンピックに向けて注目度も上がることが予想できるので、イベントや大会を誘致・運営できれば、興味を持たれる方も増えると思います。ただ、「するスポーツ」の観点から考えると、この地域にそれほど競技人口が多くはないと思われる現状の中で、厳しい状況であると考えております。 ・一般的には施設を整え、どれだけ稼働率を上げることが出来るかが、収支を考えたうえで重要であり、スクール事業などで稼働率を上げ、収入を増やす努力をしていかなければなりません。まだまだ決してメジャーとは言えないスポーツであるので、施設を作るだけでなく、<u>普及に関して町全体として取り組んでいく事が必要ではないかと</u>考えます。 ・施設完成時にはオープニングセレモニーで日本の代表的選手に来てもらい、スポーツクライミングの華麗なテクニックを町民の方々に披露していただき、合わせて<u>初心者向けの体験クライミングの開催により、施設の理解とクライミング愛好者を増やすことが肝要と</u>考える。 ・リードやボルダリングの公式大会招致に関しては、リード壁は屋外なので天候により中止の可能性があるので難しいと考える。<u>ボルダリングの大会は県内大会レベルなら充分可能性がある</u>ので早くから検討を進めるべきである。 ・施設の利用者が増えてきたら、同好会的なサークルを育成し、指導者資格を取得する方向で養成し、安全管理の講習会の講師ができるようにするべきである <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【参考】</p> <p>長野県小布施町ではスラックラインというスポーツに町全体で普及に取り組んでおり、小学校の授業などで取り入れるなどして、現在では世界レベルの選手も輩出しています。また、今年の9月にはワールドカップを開催し、地元出身の選手も何人か出場しメディアで取り上げられるなど、盛り上がった様子であった。</p> </div> <p>■「安全管理について充分検討すべき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松田町民の方々や近隣住民のスポーツクライミング施設として、安全に配慮しつつたくさんの方が利活用できるよう十分事前検討が必要である。 ・一例をあげるならば、県立山岳スポーツセンターの屋外リードクライミング壁では、県から委託を受けて神奈川県山岳連盟がクライミング教室を年9回実施しており、この教室に参加された方に利用をお願いしている。また、この教室に参加された方や日本体育協会の公認山岳指導者や、公認スポーツクライミング指導者が代表で指導する研修・講習会の形で利用している。 ・ボルダリング施設においても、<u>個人で練習が可能であるが必要最低限のルールを講習会で受講した人に練習を許可する形が必要</u>である。
ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の演奏ではかなり制限を受けるでしょう。しかし、<u>映画上映の場としては良い活用</u>ができると思います。自主上映の作品などに社会教育として価値のある作品は多くあります。松田町に階段状の客席を儲けられる会場は他にはありません。また、舞台の奥行きが狭くても映画なら可能です。

国際交流	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の居住も少ないし、観光客として訪れる外国人も少ないなかで、どのような国際交流を目指すのかをしっかりと考えていく必要を強く感じます。内容的なことはその後から議論されるべきです。
運営について	<ul style="list-style-type: none"> 近隣では指定管理者に委託しているケースがだんだん多くなっています。そのメリット、デメリットを具体的な事例として知りたいです。それから意見をまとめたいです。 経費削減の観点から指定管理にならざるを得ないと思う。ただ、専門的知識のない方が管理者になっては安全管理の観点から望ましくない。指定管理者が職員にスポーツライミングの専門知識を持った人を採用するよう条件付けは必要と考える。 民間導入にあたり、ビジネスが成り立つ魅力があるか（施設活用、施設整備の自由度）、施設活性化（稼働率向上）施策から利益創出ができるかの整理が必要。行政、協議会メンバーの意見を伺いたい。 賑い創出イベントでは、<u>地元協議会等を結成、定期的に開催する仕組みが必要</u>である。（例）グルメ（朝市、食フェス、地元グルメ・・・）健康スポーツ（オリパラ・ニュースポーツ、ラジオ体操、ウォーキング）、文化芸術など
複合拠点化の目的について	<ul style="list-style-type: none"> 松田町民文化センターは松田町立公民館とドッキングした状態で、外見からは一つの施設としか見えませんし、ほとんどの町民は一つの施設としか認識していません。この施設が、<u>リニューアルされるのは喜ばしいことですが、現在行われている町民の生涯学習や町民のための社会教育が支障を受けることは避けていただきたい</u>です。 稼ぎとは、どのくらいの収益を見込んでいるか。年間4000万の赤字と言われましたが、それに相当する収益を見込んでいるのでしょうか。自走可能な収益とはどの程度なのか。 稼ぎ機能を有する施設ということであるが、文化センター・公民館には、なじまない文言と思われる。「稼ぎ」機能を全面におしだすなら、それは町民文化センター・公民館ではなく民間のカルチャーセンターを想起させるが、そのような施設にしていくということか。 オリンピックに向けての整備も含むと捉えていいのか、オリンピックは一過性であり、「稼ぎ」要素の将来の展望は、協議会の討議へ委ねられるのか。しかしながらすでに決定している事項の討議を重ねるのであれば、一体何を協議すればよいのでしょうか。 英会話教室の運営とあるが、英会話でなければならない根拠をご教示ください。国際交流をうたうのであれば、英語にとらわれなくてもいいのではと考える。 現在の名称「松田町民文化センター」町民と冠しています。「町民ファースト」と感じ、施設を作った当時の行政の意気込みを感じるが、その意気込みも時代に置いて行かれた観はいなめない。「温故知新」に学び、30数年後をみすえ指定管理を範疇に入れるならば、広く町民の意見を聞かなければと思う。

【参考】協議会委員の皆さまへのご意見依頼内容（第1回検討協議会資料再掲）

所属・役職等	分野	専門的な立場からのご意見依頼内容
松田町 総合戦略 審議会会長	学識・地方 創生	<ul style="list-style-type: none"> 松田町が推進する地方創生（総合戦略）との整合 松田町の地域事情、特性 <p style="text-align: right;">など</p>
松田町 社会教育 委員会	文化・社会 教育	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育分野からみた、町民文化センターへの期待度 伝統文化芸能分野における、町民文化センターでのイベント等のニーズ <p>など</p>
公募委員	町民（文 化・芸術）	<ul style="list-style-type: none"> 町民文化センターにおける、文化・芸術の振興に対する、町民ニーズ 町民文化センターにおける、文化・芸術の振興に向けて期待される事項（役割や機能） <p style="text-align: right;">など</p>
松田町 体育協会	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 松田町や県西地域で求められているスポーツイベント 次世代育成、健康増進（未病改善）などと絡めたスポーツ振興イベント等のニーズ <p>など</p>
湘南ベルマーレ	スポーツ・ イベント・ 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 企業の社会貢献の視点から、複合拠点施設を目指す「町民文化センター」への期待度、ニーズ、可能性 湘南ベルマーレとしての関わりや連携の可能性 <p>など</p>
神奈川県山岳連盟	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> クライミング競技の動向（競技人口の増加） 裾野の拡大や、普及イベントなどのニーズ 公式大会など、競技会場としてのニーズ <p>など</p>
松田 町観光協会	観光・イベ ント	<ul style="list-style-type: none"> 町民文化センターで開催が望まれるイベント（分野） 観光施策から見た利活用案（期待度、ニーズ） 県西地域における観光ニーズの動向、変化 <p>など</p>
株式会社セレスポ	イベント	<ul style="list-style-type: none"> オリパラ前後のスポーツ等を絡めたイベントニーズ 町民文化センター（規模、立地）で開催可能なイベントのニーズ、可能性 <p>など</p>
(公社)かながわ国 際交流財団	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> 県西地域における国際交流の現状（動向やニーズ） 県西地域における国際交流の推進の可能性 県西地域における国際交流の推進に向けた課題 <p>など</p>
松田町国際交流コ ーディネーター	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の推進に不足している事柄（町民文化センターに期待される機能や役割） 国際交流ガイドや通訳に対するニーズ <p style="text-align: right;">など</p>
松田町教育課長	施設管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者の立場から、制約や可能性 教育分野から見た、利活用の期待（ニーズ） <p style="text-align: right;">など</p>

4. 松田町民文化センター複合拠点施設化の活用方策に関する論点整理

(1) 松田町民文化センター・松田町立公民館のこれまでの目指していたところ

松田町民文化センター及び松田町立公民館は、教育・文化に関する事業を行い、住民の教養の向上や生活文化の振興等に寄与する混合施設として地域では先駆的に建設（昭和56年）した。

これまでの松田町民文化センター・松田町立公民館の狙い

- ・ 町民の教育・文化の向上
- ・ 足柄上郡では、先進的取組みであった

(2) 松田町民文化センター複合拠点施設化で目指すもの

「県西地域で必要とされ、他と差別化した新たな機能」を付加した広域的な複合拠点施設へリノベーションすることで、賑わいの復活と地域経済を活性化させていく。賑わい創出をけん引する新たな機能は、トレンドや今後の可能性を加味したスポーツ環境（スポーツライミング）の整備、国際交流基地の構築、県西地域へ波及する効果が見込めるものとする。

これからの松田町民文化センター複合拠点施設の狙い

- ・ 公共交通利便性を活かした、県西北部地域をリードする集客拠点施設へ
- ・ 県西北部地域の拠点として、余所に無い機能を有した施設へ
- ・ 文化的な催しや機能も充実し、町民が集う（憩う）施設へ
- ・ 町民や子どもたちへ、文化やスポーツに触れる機会を増やす施設へ
- ・ 地域や周辺自治体への波及効果を生む施設へ

(3) 松田町民文化センター複合拠点施設化の論点整理 ※皆さまのご意見整理

松田町民文化センターは松田町立公民館と機能が併設されているものの、利用者からみると1つの施設であり、機能が増えても施設を一体として考えることがポイントである。

松田町民文化センター複合拠点施設化にあたっては、第1に「町民のための拠点施設である事」が重要である。町民の教育・文化だけでなく、スポーツ・未病・国際交流の振興も図り、施設の利用を町全体として促進することで、町民の施設活用および利用満足度の向上に寄与する。

第2に「広域的に魅力的な拠点施設として町外からの来訪・集客を図る」ことである。クライミングの人口増加を図り、「みるスポーツ」から「するスポーツ」への波及効果に寄与し、また、「食」を活かした交流事業など、県西地域をけん引する新たな拠点施設として展開することで、松田町全体の魅力向上にも繋がる。

松田町民文化センター複合拠点施設の目的の再整理

- ・ 町民にとっての、教育・文化・スポーツ（未病・国際交流）の振興施設へ
- ・ 町民にとって、利用価値が高く、利便性の高い施設であること
- ・ これによって、県西北部地域にとって、広域的に魅力的な機能を有し、ソフト事業も充実している拠点施設へ（松田町の活性化に繋がる）